

「あの夏の絵」 狛江公演の成功に向け、ご協力のお願い

劇団「青年劇場」が2015年以来毎年、学校や地域で公演してきた「あの夏の絵」を、いよいよ狛江のエコルマホールで公演することになりました。公演成功のために、正会員に、あるいは賛同会員になってくださいますよう、皆様にご協力をお願いいたします。

世界ではいまだに戦争が続き、核兵器が脅しとして使われています。そうした中で、今年は被ばく80年、昨年秋には被団協がノーベル平和賞を受賞しました。

狛江公演は、多くの市民に核兵器廃絶を願い、被爆体験を継承し、平和を考える絶好の機会になると思います。

○狛江公演の骨子

日 時：2025年7月3日（木）午後6：30開演 上演約2時間（開場6：00）

場 所：エコルマホール（狛江駅北口）

チケット代：一般 3,000円 学生・高校生 500円 小・中学生 無料

（販売は3月頃からを予定）

○公演内容

広島市立基町高校が、平和記念資料館の依頼で被爆者の証言を聴き取り、絵に起こすことで被爆体験を継承していく「原爆の絵」の取り組みを続けています。

「あの夏の絵」は、作者の福山啓子が実際に基町高校生や、教員、被爆者などを取材して事実を基に描かれた舞台作品です。依頼を受けた高校生たちが被爆の実態の悲惨さや継承する責任の重さに向き合う中で、お互いにぶつかり合い、葛藤しながら友情を育みつつ絵を完成させる姿がすがすがしく描かれています。また、高校生が被爆者の苦しみや想いに寄り添い、一緒に絵を完成させていく姿は、世代を超えて体験を継承していくことの大切さや平和な未来への希望を感じさせる内容となっています。

○呼びかけ人

伊藤千尋（国際ジャーナリスト）

小俣眞智子（元教師 こまえ平和フェスタ初代実行委員長）

小林弥栄子（語り手）

金光桂子（元舞踊家）

寺尾安子（元教師 森瀧市郎日本被団協初代理事長の長女）

中島信子（児童文学者）

増田善信（気象学者 広島黒い雨調査「増田雨域」提唱）

○「あの夏の絵」 狛江公演を成功させる会（1月16日発足）

共同代表 牧岡善隆（東京土建狛江支部）、

周東三和子（新日本婦人の会狛江支部）、

大熊 啓（猪方）

連絡先 東京土建狛江支部事務所

狛江市猪方3丁目25-37 [TEL:03-3480-9761](tel:03-3480-9761)

○会員 東京土建狛江支部 新日本婦人の会狛江支部 狛江ぞうれっしゃ合唱団
こまえ年金者の会 こまえ平和フェスタ実行委員会 平和憲法を広める狛
江連絡会 豊かな狛江をつくる市民の会 (7団体)
大熊啓 石川巖 伊藤則子 鈴木勝雄 大門ミサ子 二階堂まり 西尾
真人 林 建彦 日向正文 平井里美 広木澄子 細谷明美 (12名)

○会の目的 青年劇場「あの夏の絵」エコルマホール公演を成功させること。
その取り組みと成功を通して、被爆 80 年の節目に、広く市民に被爆体験
の継承、平和について考える機会を広げ、狛江市平和都市宣言の精神を実
践し、「核兵器のない未来」への一助とする。